



いじめを
高く持つことも必要です。それ
と同時に、いじめを

いじめ根絶には一人一人が意識
を高く持つことも必要です。それ
と同時に、いじめを

「心のきずなを深める」とは

いじめ根絶には一人一人が意識
を高く持つことも必要です。それ
と同時に、いじめを

いじめ根絶には一人一人が意識
を高く持つことも必要です。それ
と同時に、いじめを



この月間、本校の特筆すべき取組みに「みんなみつ子集会」があります。人権委員会の子どもたちが掲げた集会の目的は、①ふわふわ言葉をふやす。②おたがいの気持ちを知り合う。③人がいよいよ気持ちになる行動をなくす。日常の一コマを人権委員たちが演じて、この目的をみんなで確認することから始まりました。

やっと梅雨らしい(?) どんよりとした空の下、もう六月の最終週となってしまいました。湿度の高い日は何となく気分も湿りがちなのですが、子どもたちはいたつて元気。毎朝の明るい挨拶で、私たちの気分はカラッとするのです。さて熊本県では、毎年六月は「心のきずなを深める月間」として、いろんな取組がなされます。

六月は心のきずなを深める月間! 私たちの証!みんなみつ子集会!

伝えたいこと! 分かり合いたいこと!

三年生。もやもや書きの学習を通して、自分の心の中のもやもやを晴らすために、伝え合うことを書かせてもらいます。

青葉の詩

あおばのうた
発行責任者
菊陽町立菊陽南小学校
校長 渡邊浩文

各学年・学級の発表

それぞれのクラスで現在取り組んでいること、心のきずなを深めること間に考えたことを発表してくれました。発表順に私の感じたことを書かせてもらいます。

二年生。教科書で学んだ「たけちゃん、とくちゃんのはなし」本の中のお話が、本の中だけで終わらない。自分のこととして、身のまわりの出来事と重ねていく。生活の中に学びを生かす姿勢が、3

65歩のマーチの歌にぴったりでした。

五年生。伝えきれないもどかしさ、注意できない心の悩み、高学年としてすつきりできない気持ちを話してくれました。まだまだ足りないところを振り返りつつ、高校としての自覚と責任、そして勇気が身についてきたことがよくわかりました。まだ足りないところを振り返りつつ、高

四年生。みんなが違っていることを認めよう。人それぞれが考えていること、苦手なこと、いろいろなことを話すことで、新たな自分と出会うし、新たな友だちと出会うことになります。新しいクラスを目指す力強い気持ちを感じました。

おひさま学級。ふわふわ言葉つてたくさんある。口にすることで、まわりの人を安心させたり、いい気分にさせる魔法の言葉。でも、自分自身に言い聞かせるふわふわ言葉もあるんですね。「大丈夫、大丈夫」「まあ、いいか」等々。そう

だよなあと、とても感心しました。

六年生。自分

の行動がまわりにどう思われているのか知らない

ないです。

何人もの保護者の皆様も参加いたしました。小学校でこれだけの集会ができることに、私は驚きました。ご覧いただいた皆さんもきっと同じ思いででしょう。これからも、南小のいいところがぐんぐん伸びていきますように。

です。

聞くだけでなくお返し!

お昼休みの学科の勉強で臨みまし

たが、わずかのところで入賞は逃

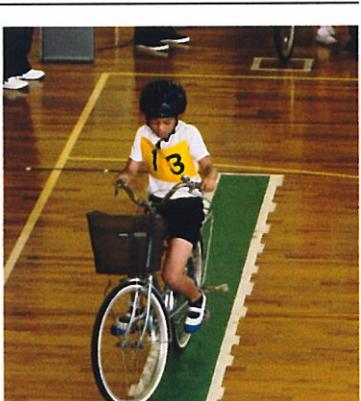
しました。練習を指導いただいた

交通指導員の皆さん、応援いただ

いた交通安全母の会の皆さん。大

変お世話になりました。

スをつくりたい。そのためには、挨拶や発表へのお返し、拍手などのリアクションが大切。みんなでいい雰囲気づくりをして、最高の学年をつくりたい。小学校最後の一年をどう過ごすか、しっかり考え、取り組んでいこうという意気込みが伝わりました。



自転車大会

六月十七日(土) 本田技研の体育館で子ども自転車大会が行われました。本校からは、上村玲央さん、小牧一花さん、高木春花さん、鍋島千慧さん、鍋島美桜子さんが出場。連日の早朝からの実技練習、

